



高木瀬小学校 学校だより

第6号
R7.8.22発行
文責:橋口

どのような夏休みだったでしょうか？

子ども達はどのような夏休みを過ごしたのでしょうか？

今年の夏は例年にも増して酷暑となり、「不要不急の外出はひかえるように」との注意喚起が続きました。夕方でも気温は30度を超えており、子どもたちの外遊びはかなり難しかったのではないかと思います。校区内巡回でも子どもの姿を見ることは、ほとんどありませんでした。

この夏休みに交通事故や水の事故の報告が届かなかったことには胸を撫で下していますが、一方で、夏休みならではの体験がいくらできたのだろうかと気がかりです。暑さの中でも自分のしたいことを見つけて楽しめたでしょうか？

新学期は「どんな夏休みだった?」「一番の思い出は何?」と子ども達に聞きたいと思います。

なぜ登校日を設けるのか？

「このような暑い中、どうして登校日を設けるのか?」と思われる方もいらっしゃるかと思います。現在、佐賀市内でも対応は分かれ、登校日を設けていない学校の方が多い状況です。

本校は、以下の理由により新学期の1週間前を選んで登校日を設けています。

1. 宿題や自由研究・応募作品の提出を通じて

残りの1週間をしっかりと楽しみ、明るい気持ちで2学期を迎えてほしいという願いがあります。

2. 生活リズムの調整

夏休みモードになっている生活リズムを、登校日をきっかけに、学校生活モードへ戻してほしいと考えています。

3. 宿題の進捗確認と支援

宿題が未完了の子どもを把握し、家庭と連携しながら支援することができます。宿題が終わっていないと登校を渋る子もありますが、すべての子どもたちに気持ちよく新学期を迎えてほしいという思いがあります。

4. 教職員の準備時間の確保

宿題や自由研究・作品応募を登校日に集めることで、教職員が夏休み中に丸付けや応募準備(名簿作成・発送準備など)を終えることができます。本校のように1学級が30名以上の場合、これらの作業はかなりの時間と労力を要します。2学期が始まれば、教職員も学習や行事に集中したいと考えています。

21日(木)、教職員は登校してくる子ども達のことを思いながら朝掃除をしました。

暑さ指数 WBGT で慎重に教育活動の判断をします



9月以降も厳しい残暑の予報が出ています。2学期からの学校生活を不安に思われた方も多いかと思います。本校では、暑さ指数 WBGT (気温・湿度・輻射熱の3つを取り入れた温度の指標) を基に運動の可否や活動場所を決めています。それは、外遊びも含みます。養護教諭が9時と13時の「暑さ指数」予報を廊下に貼りだしています。また、体育の授業前などは各担任が指数を確認してから授業を行うようにしています。

夏休み明けは、まだ暑さに慣れていない子供たちの存在も考慮して慎重に判断することになっています。

夏休み中に見かけた「たくましい姿」...

朝、リュックサックを背負って児童クラブに歩いて登所する子、社会体育で汗っぱいに頑張っている子を見ました。図書館に自転車で本を借りに来ている子にも会いました。



環境省「熱中症予防情報サイト」

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

残暑厳しい9月に備えましょう

子供たちの体調管理、体力回復にぜひご協力をお願いします。

- ①徐々に暑さに身体を慣れさせる暑熱順化がとても大切です。朝や夕方の時間に自宅前でちょっと身体を動かす運動や遊びをするなど無理のない範囲でお願いします。夏休みにエアコンで過ごすことが多かった子どもは、残暑厳しい9月の学校生活はかなり辛いと思います。現代っ子は7月よりも熱中症のリスクが高いとも言われています。
- ②「早寝、早起き、朝ごはん」のご協力をお願いします。睡眠不足と朝食の欠食は危険です。
1学期は、遅刻してくる子、授業中に居眠りをする子、空腹を訴えぐったりする子も少なからずいました。ご家庭の協力なしに改善は見込めません。しっかりと学習をすること、友だちと仲良く協力して生活することの基盤は、安定した生活リズムです。

「WBGT 値が危険域でなければ運動場の開放はしません」

夏休み直前は暑さ指数 WBGT が31以上の危険域となる予報が出ていました。危険域は「運動は原則禁止」であり、「特に、子どもの場合は中止すべき」と環境省が示していることから、通学距離や体力・体調面から不安なご家庭のために運動場を臨時の駐車場としました。子ども達の命を守ることを第一優先に考えた措置です。

しかしながら、下校中の狭い敷地に車が入ることから、車と下校する子ども達の動線が交差し、いつ事故が起きてもおかしくない状況となりました。職員4～5名が下校の前後2時間以上、車や子どもの誘導をしましたが、それでも、ヒヤリとする場面が複数回ありました。

9月の状況を今、正確に予測することはできませんが、「危険域」となるような場合でなければ車の乗り入れはご遠慮いただきたいと思います。新学期直前、「危険域」の予報が出た場合は、1学期末同様の対応をします。その場合は、事前にメールにてお知らせをしますので、「お迎え」を前提とされないようにお願いします。

【注意】

- ①高木瀬公民館でお子さんを待つ車はずいぶん減ったようですが、近隣のお子さんを待っている車両があると苦情が入っています。
地域の方に迷惑となる行為は謹んでいただきますようお願いいたします。
- ②ケガや病後の回復期など特別の事情がおりの方について送迎を制限をするものではありません。
- ③祖父母の皆様にも上記のことについて共有をお願いします。



- 8月23日(土)は**高木瀬夏祭り**です。本校運動場をメイン会場として開催されます。ステージではPTAと6年生代表児童による「〇×クイズ」があり、景品がたくさん用意されています(当日参加OKです)。
また、PTAから焼き鳥の店が出され、北校舎ではPTA主催の「きもだめしスタンプラリー」(要:事前申し込み)もあります。ぜひ、ご家族お揃いでお出かけください。夏の楽しい思い出の一つとなると思います。
- 佐賀市PTA研究大会が9月13日(土)12時30分から東与賀文化ホールにて開催されます。今回、東明館中高の理事長・校長の**神野元基氏による講演**があります。神野氏は、Forbes JAPAN「日本の起業家ランキング 2021」に選出された起業家であると同時に教育者でもあります(学習指導要領改訂の中央教育審議会特別部会委員・・・日本のこれからの教育の在り方について意見を述べる役割です)。
本校は佐賀市教育委員会から佐賀市立小中学校53校を代表してモデル校に指定され、現在、神野氏の支援をいただきながら、学校改革を進めています。「これからの時代を生き抜く子ども達に何が必要なのか」「親はどう関わるべきか」について、きっと「目から鱗(うろこ)」の話が聴けます。
参加されませんか?聴かないなんて、もったいないです。これからの教育について、親が知識や価値観をアップデートをしないと、ひょっとしたら、我が子をミスリードしてしまうかもしれません。私は本校にお招きしサポーター向け講演会を開催したいと思ってたくらいなので、この研究大会の内容を知って小躍りしました。本校サポーター(保護者)にたくさん参加をしていただきたいと願っています。よりよい高木瀬小へと学校づくりを一緒に進める同志となっていただけると期待しています。
希望者は学校(担任)までご連絡ください。希望者が多く当日の飛び込みでは入場できない恐れがあります。(ちなみに、本校PTAの「きもだめしスタンプラリー」の発表もあります)